

## 平成23年度 市のお金は下記の事業などに使いました。

### 消防・防災関係への取り組み

- 須川港防災拠点施設整備事業  
1億758万円  
南島原市消防庁舎横に万が一の災害発生に備え、防災拠点の整備を行い、防災体制の強化を図った。



### 環境衛生関係への取り組み

- 太陽光発電設備設置費補助事業  
960万円  
地球温暖化防止などの環境保全対策の一環として、自然エネルギーの利用の促進を図るため、設置費の一部補助。



### 観光関係への取り組み

- 西望記念館改修事業  
1,810万円  
西望芸術の継承および交流人口拡大による経済活性化も目的として、市の主要観光施設でもある西望記念館の改修。



### 教育施設関係への取り組み

- 小中学校施設改修・耐震補強事業  
1億6,486万円  
昭和56年6月以前に建設された施設の耐震診断を行い、基準を満たさなかった施設の補強工事を行い、児童生徒の安全と安心を図った。



### 農林関係への取り組み

- 強い農業づくり交付金事業  
8,175万円  
農業者の組織する団体の農産物の高品質、高付加価値化および担い手確保など、農業生産の振興を図るため、施設整備費の一部補助。



### 水産関係への取り組み

- 市内水産関係施設整備事業  
7億5,612万円  
漁港および漁業者の漁業活動の安全などを図るため、各地区漁港の整備。



## チェック!! 健全化判断比率などの状況(平成23年度決算)

財政悪化がすすむ県や市町村の財政破たん(倒産)を未然に防ぐため、平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、一般会計の財政状況に加え特別会計や一部事務組合などの状況も反映させ、毎年度決算の際に健全化判断比率および資金不足比率を算定し、監査委員の審査を受け議会に報告し、公表することになっています。

南島原市の数値は、昨年と同様、いずれも国の定める基準を下回っており、健全な財政運営がなされていることを示していますが、各比率が悪化して国の基準を超えないよう、これからも「行政改革大綱」や「集中改革プラン」に基づき、行財政改革を推進していきます。

### 南島原市の健全化判断比率

健全化判断比率には、次の4つの指標があります。

**実質赤字比率**  
一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示します。

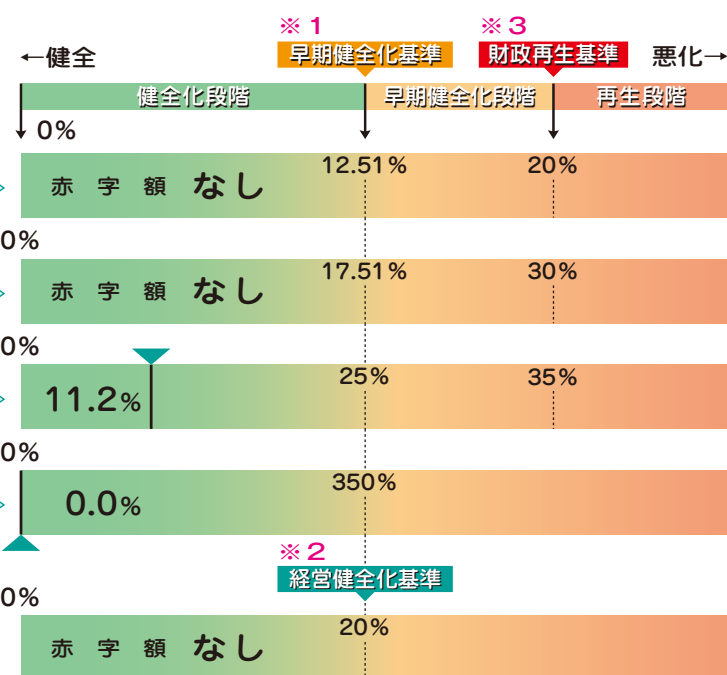
**連結実質赤字比率**  
全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示します。

**実質公債費比率**  
南島原市の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示します。

**将来負担比率**  
南島原市が抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示します。

### 資金不足比率

各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示します。



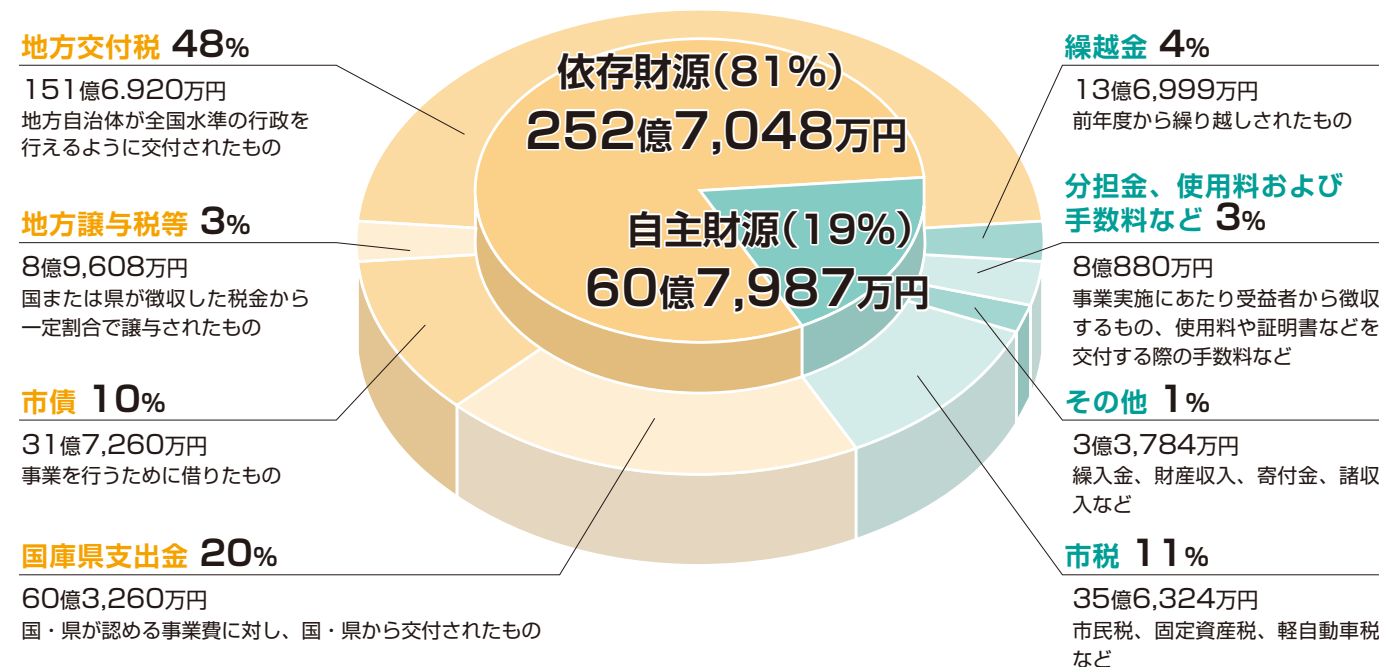
- ※1 「早期健全化基準」、※2 「経営健全化基準」とは…国が示す基準で、これを超えてしまうと議会の議決を経て財政健全化計画を定め、財政の健全化に向けて計画的に取り組まなければなりません。
- ※3 「財政再生基準」とは…国が示す基準で、これを超えてしまうと議会の議決を経て財政再生計画を定めるとともに、国(総務大臣)が認めない事業はできなくなってしまうなど、国の指導のもとで財政再生を行うことになります。

# 平成23年度 決算の状況

図 財政課 ☎050(3381)5121

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間の収入、支出の状況をお知らせします。  
皆さんからの税金や国・県からの補助金などは、南島原市の生活環境をより良くするためにさまざまな形で使われています。

## 収入総額 313億5,035万円



## 支出総額 307億1,778万円

